



CONTENTS

- 地域振興
新体制スタート
- 消防団
消防団 100 周年事業
- 子どもを育む
新年度に当たって
- 環境衛生
美しい環境へ
- 健康福祉
年間計画について
- 生活安全
2年間宜しく願います

コラムかなえ

先日保育園の交通安全教室のお手伝いに参加し、感じたことがある。自分の運転はどうだろうか？いくら道路交通法を守り、細心の注意を払っていると思っ

ても、周りの車や歩行者に「あの車怖いな」と思われていたならば、それは「安全運転」とは言えないと思う。

安全運転は、運転する私たち自身が決めるのではなく、周りの人が決めることなのだと思う。

ドライバーのちょっとした油断や交通ルール違反が事故の原因となる。運転する場合は、交通ルールを守るだけではなく、歩行者や、自転車に注意を払い、細かい道路状況に応じた安全運転が求められる。

安全教室での園児たちの真剣な眼差しを見て「真の安全運転」の大切さを痛感した。

県地区まちづくり委員会

「人・暮らし・文化が潤う 夢ある かなえ」の実現に向けて新年度をスタート

県地区まちづくり委員会は、新型コロナウイルス感染症感染対策を取って、4月22日に県文化センターホールで開催し、令和3年度の事業報告、決算報告・監査報告、及び、令和4年度の事業計画案、予算案が全会一致で承認されました。

また、役員改選があり、前田新会長のもと執行部が一丸となって、第4次県地区基本構想・基本計画「人・暮らし・文化が潤う 夢ある かなえ」の実現に向けた取り組みを推進しますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



会長 前田 雄二

新年度総会において役員選考委員会議案が議決承認され会長に選出されました。重責に身の引き締まる思いです。もとより個人として力量が不足するところではありますが、

多才な執行部役員の皆様との組織総合力を発揮して事業執行に取り組みます。まちづくり委員会の自治活動を取り巻く環境とコロナ終息後の地域の慣習に変化が現れています。第4次基本構想・基本計画の前期の検証に併せて、持続可能な地域自治組織に自らが変わることへの取り組みを行います。

前執行部からの重要課題の○複合公共施設建設○県道青木東線下山工区道路改良○リニア新幹線松川工区安全対策を継承します。○各種団体との協働関係の強化○自主防災体制整備と環境保全・伝統芸能継承・小中学校の地域人教育等事業への支援とともに地域振興の課題にも誠実に取り組みを行います。

新年度より総務文教部長を拝命致しました下茶屋区長の熊谷廣光と申します。思わぬ大役を仰せつかり戸惑いながらもとにかくスタート致しました。前田会長のもと、執行部全員の協力体制で、明るい話題の少ないコロナ下ではありますが今年度の地域課題に取り組みでまいります。



部長 熊谷 廣光

総務文教部

総務文教部では「10地区の魅力を活かし活力あるまち交流づくり」を目標に自治組織の充実と活力ある地域づくりのために情報の発信や特色を生かした交流の促進に努めます。

特に今年度の重要課題として、公共複合施設建設の促進、組合未加入対策、持続可能な地域自治組織への改革、各種団体との連携で地域の絆を強化等に取り組み、具体化を目指します。

部員の皆様と協力して邁進してまいります。



部長 中島 基雄

産業経済部

この度、産業経済部長を仰せつかりました上茶屋区の中島と申します。大役に身の引き締まる思いです。県地区の農業・林業・商業・工業の発展のため少しでもお手伝いできればと考えております。

とりわけ豊かな自然や先人が築いてくれた文化に磨きをかけ、さらに環境に配慮した持続可能な取り組みを行うことにより、世界に通じる「くらし豊かなまち」ができるのではないのでしょうか。

その中の一つが財産区の整備事業です。関係する団体との連携を図りながら毎年行っております。例年通りの妙琴公園のみみじの整備作業、また松川入り財産区での森林整理整備作業などを通じ地域に少しでも貢献できればと思います。

また「松川の清流と自然を訪ねて」の取り組みも継続していきたいと考えています。



部長 前澤 清隆

建設部

まちづくり委員会の新しい役員として、建設部長に就任させていただきました切石区長の前澤です。まちづくり委員会は以前、生活委員長として参画させていただきましたことがあり、ありがとうございました。委員会の在り方については理解しているつもりですが、今後の県地区と致しましては、課題も山積みであります。

新しく就任された前田まちづくり委員会会長が示された課題に向けて進んでいくわけであり、それぞれの事業部において中身を精査しながら、それぞれの担当が腕を振るい、答えを出していくこととなります。

まちづくり委員会のみなさん、地域の皆様一同が協力され、県まちの新しい形作りをしていきたいと思います。皆さんの結集が県地域をつくるというお考えを期待しています。

自主防災部



部長 吉川 豊

自主防災部は、「安全で安心して暮らせる地域づくり」を目標に活動を進めて参ります。特に、いつ起こるともわからない自然災害に対応できる体制づくりを推進します。現在使われている「防災」という言葉には、災害が発生したとき被害を最小限に抑える「減災」や、被害を受けたものをもとの状態に戻す「復旧」の意味も含まれるのとことです。

とすれば、我々にもできることがあるはず。まずは「自助」、一人ひとりが自分や家族の命・財産、被災後の生活を守るために備えること。さらに、「共助」、地域の住民同士が助け合って取り組む防災も必要です。

「遠くの親戚より近くの他人」と言われるような近所づきあいのできる自主防災会組織にしたいと考えています。

広報部



部長 山田 勝利

このたび広報部長の任を預かりました。どうぞよろしくお願いいたします。

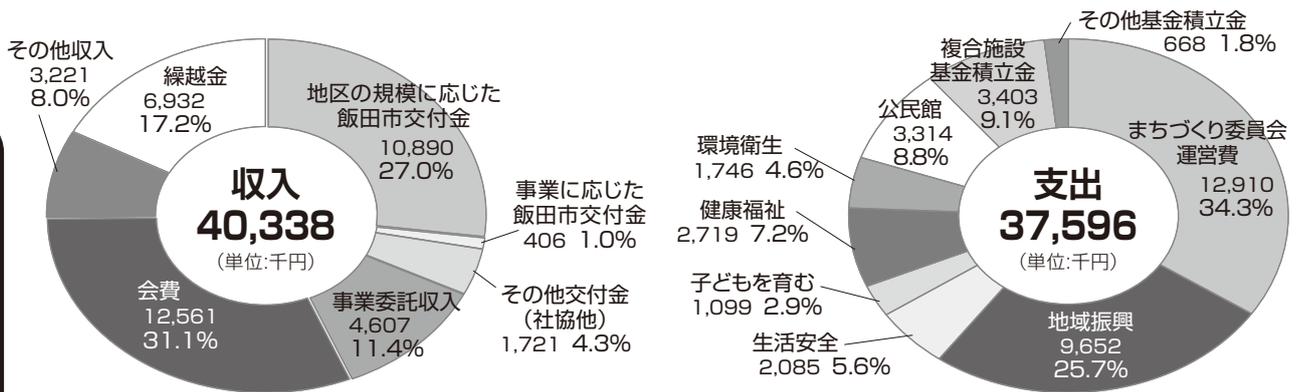
現代社会の複雑化や高度化と相まって、私達の生活様式や思考・行動の多様化が鮮明になってきています。人々がSNSという渦に巻き込まれながら日々を過ごす姿や住民の自治会離れが深まっている現象を目にしています。

こうした中であって、紙面を通じて「読みやすい」かつ「見やすい」というやや地味な手法をもって、地区の事業活動を興味深く感じていただけるような広報活動を目指したいと考えております。

皆様方のご支援ご協力をいただきながら「広報かなえ」を公民館報と共に年4回発行して参ります。

また一方で、昨年末に公開が始まりましたホームページの活用頻度の向上と改善にも努めていきたいと思っております。

令和3年度決算



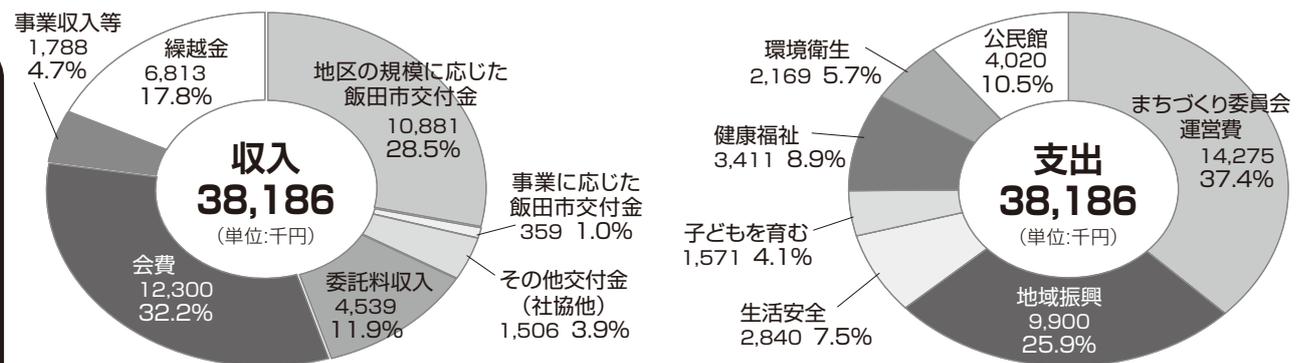
令和3年度は「コロナに負けない元気なまちづくり」をスローガンに気概を持ってスタートし、新型コロナウイルス感染症警戒レベルを見極め怠らない準備としたたかな実行に努め、達成感と悔いのない対応に全力をあげてきました。

【重点課題の取り組み】◇県道青木東線下山工区の早期改良整備の促進 ◇県地区公共施設等の「複合施設」設置の早期事業化の実現 ◇リニア中央新幹線松川工区の工事車両からの住民を守る安全対策

【その他の取り組み】◇第4次基本構想・基本計画の実践課題 ◇組合加入率の向上と自治会組織の充実 ◇県地区ホームページ開設 ◇公共施設再生可能エネルギー活用事業の運用開始

皆様のご理解とご協力によりまして、事業が実施できましたことにお礼申し上げます。

令和4年度予算



快適な暮らし、夢が育む文化、活力を生む交流をキーワードに、まちづくり委員会と10地区が強い結束のもとコロナ禍の困難な状況を乗り越え、県地区の発展に全力を尽くしてまいります。

今年度も引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

消防

令和4年度新幹部員挨拶

(出身班)

【分団長】

岡本 誠 (自動車班)

分団長として精一杯務めさせていただきますので、宜しくお願い致します。

【副分団長】

羽場 功 (東鼎班)

コロナ禍で様々な制限がありますが、消防団の技能向上に努めていきますので、宜しくお願い致します。

【庶務部長】

上野 秀 (名古屋班)

初めてことで分らないことが多々ありますが、精一杯努めさせて頂きますので、何卒宜しくお願い致します。

【消防部長】

小木曾泰斗 (東鼎班)

地域の安全と消防団の活性化のために尽力していきます。宜しくお願い致します。

鼎消防団100周年 記念事業

今年で鼎消防団が100周年というところで、記念事業として現在の活動内容の記録と新規団員の勧誘を目的とした動画の作成に取り組んでおります。消防団活動が面白いと思ってもらえるような動画の完成を目指して打ち合わせを重ね、操法訓練・春季非常招集訓練などの撮影を行っております。

動画が公開された際は、是非一度ご視聴ください。



消防団員を募集しています！

現在の鼎消防団は団員数の減少に歯止めがかからず、有事の際に満足のいく活動ができない非常に厳しい状態です。年齢的には30代が7割を占め、20代が3割程しかいません。このままでは近い将来存続できなくなります。

戸別訪問による勧誘が難しい状況が続いておりますので、どうか地域の皆様から「消防に入ってみたいら!？」と誘って

ただけませんか。地域の皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

気になることがありましたら、お気軽にお問い合わせください。(担当 岡本)

電話 090-96667-6397
メール otokam-otomako7891@yahoo.co.jp



令和4年度 飯田市消防団第15分団 予算書

収入の部

項目	令和3年度		令和4年度	前年予算額との比較(円)	備考
	決算額(円)	予算額(円)	予算額(円)		
前年度繰越金	5,066,427	2,563,782	4,030,508	1,466,726	
交付金	3,950,000	3,600,000	3,600,000	0	飯田市交付金
出動手当	1,357,000	650,000	950,000	300,000	団出動手当
協力金	3,031,700	3,200,000	3,200,000	0	地区からのもの
雑収入	62	100,000	100,000	0	利息、厚志等
	0			0	
計	13,405,189	10,113,782	11,880,508	1,766,726	

支出の部

項目	令和3年度		令和4年度	前年予算額との比較(円)	備考
	決算額(円)	予算額(円)	予算額(円)		
会議費	0	70,000	50,000	▲ 20,000	議会合
事業費	705,685	4,500,000	4,500,000	0	各種訓練、行事費用等
研修補助費	0	700,000	700,000	0	研修視察、資格取得に対する補助等
交付金(出)	2,847,100	3,200,000	3,200,000	0	班への交付金、手当等
需用費	36,619	1,000,000	1,000,000	0	消耗品費、修繕料、光熱水費、交通費等
交際費	0	70,000	70,000	0	分団の代表として他団体との交流に要した費用
福利厚生費	2,820	200,000	200,000	0	養育費、団員に対する福利に関する費用
予備費	1,100	373,782	196,427	▲ 177,355	予備費
備品購入費	281,357	0	3,000,000	3,000,000	消防用具、防災備品等ある程度の期間の使用に耐える物品の購入費
次年度繰越金	9,374,681				
計	13,249,362	10,113,782	12,916,427	2,802,645	

差し引き 1,035,919

少年消防 クラブ員募集

現在飯田市消防団では少年消防クラブ員を募集しております。

年に数回の活動があり、活動内容と致しましては、消防車両や消防署の見学や装備品の使用体験、レクレーション、地区内広報などとなっております。小学生が楽しめる内容となっております。

少しでも興味をお持ちの方がおりましたら気兼ねなくお問い合わせください。

未来の消防団員求む!!

お問い合わせ先

幹事長 秦野 陽介

電話 090-93558-6741

メール

yoan_keifa@ezweb.ne.jp





委員長あいさつ

切石 小澤澄子

2年間子どもを育む委員会委員長を務めることになりました切石区の小澤澄子と申します。支部で経験したとはいえ、分からない事ばかりでご迷惑をおかけ致しますが、一生懸命務めさせて頂いていただきますのでよろしくお願い致します。

【委員会の基本方針】

これからの新しい技術と伝統を理解し大切にできる地域人として、鼎の子どもを守り育みます。さらに、地域に自信と誇りを持ち、一旦は離れても帰ってきたいと思える人づくりに、住民一人ひとりが当事者意識を持って取り組みます。

【事業計画と具体例】

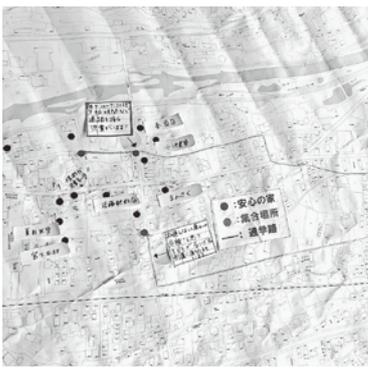
○飯田コミュニティスクールの定着(広報にて周知)○長期休みの居場所づくり(夏祭り

・色塾・稲井学校等々)○伝統行事を三世代交流で継承(獅子舞・太鼓・どんど焼き・おやす作り)○自然体験(農業体験)○全体事業(勾玉作り・フラワーアレンジメント・表札作り)○安全な環境づくり(通学路のパトロール・危険箇所点検・安全の家確認・挨拶+ひと声運動)○公民館事業との共催(ベタンク大会・運動会)○研修視察(先進地域・施設・講演会)

状況の推移を見ながらPTA各委員と何とか知恵を出し合せて実施してまいりますので、地域の皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

上茶屋 通学路 安全について

ご入学、ご進級おめでとうございます。新年度になり新しいランドセルを背負って緊



張しながらも、新しい環境にワクワクしている表情のお子さまを見かけるようになりました。今年度もお子さまが安心安全に生活できますよう、お手伝いさせて頂きたいと思えます。

そのひとつの活動として通学路安全見守りを行っています。上茶屋地区では主に2通りの通学路があり、小学校PTAや中学校PTAと協力し通学路見守りを行っています。今年度は小学校からの要請もあり子どもたちが安全に通学できるように見守りをするにに加え、子どもたちが安全に過ごすために道路の渡り方や歩道の歩き方を指導できるように関わっていききたいと思えます。

また、昨年度子どもを育む委員で作成いただきました、安心の家マップにも危険箇所を追加記入し、地区のみんなで共有していただけたらと思います。

今年度は昨年からの引き続きコロナ禍ではありますが、数年できていない世代間交流などの行事についてもその時に合わせた対策をとりながら実施できるといいと思えます。

西 第31回 鯉のぼり祭り

令和4年度、子どもを育む委員会西鼎支部長の太田です、よろしくお願ひします。

西鼎恒例行事「鯉のぼり祭り」。今年で第31回になります。4月2日から会議が始まりました。新型コロナウイルス、デルタ株、オミクロン株、世界中、日本中、飯田市にも流行している中、鯉のぼり祭りが開催できるか中止にするか、4月14日の警戒レベルによつて、判断をすることになりました。

飲食、密になるイベント等



は中止し、鯉のぼり写生大会は地区内児童の皆さんのみにしました。また、西鼎公民館前の松川河川敷及び西鼎公園に、鯉のぼりを規模を縮小して飾りました。児童の皆さんにはご遠慮してもらい、実行委員、PTAの皆さんで、雨が本降りの前に飾ることができました。

5月5日の当日は、好天に恵まれイベント日和でした。子ども達が描いた鯉のぼりの絵の作品展を公民館で開催して、最優秀賞1名、優秀賞2名、区长賞1名、公民館賞1名、あとの子ども達を入選ということにして、子ども達皆を表彰しました。

コロナウイルスが早く終息して、子ども達と盛大に鯉のぼり祭りを行いたいです。来年に期待します。

環境衛生

ゴミ出づルールと 美しい環境へ

委員長 今牧宏益

今年度から2年間環境衛生委員長を務めることになりました、下山区の今牧と申します。環境衛生の役は初めてで分からないことばかりですが、各区の支部長・女性部長の皆様の協力を得て頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

日頃から地区の役員の方には朝早くからリサイクルステーションを開設していただいたり、ゴミ集積所責任者の方には管理をしていただき、ありがとうございます。

皆様へお願いしております
ゴミ出しには基本ルールがあります。

○ゴミは、収集日当日の午前

7時まで集積所へ出すこと。

○ゴミは、適正に分別して出すこと。

○ゴミは、飯田市指定ごみ袋に入れて出すこと。

リサイクルステーションでは、ガラス瓶・ペットボトル・アルミ缶（鼎地区独自）を回収しています。

集積所とは違い、どこに持ち込んでいただいても結構ですが、中には汚れているものやリサイクルできないものがあります。ステーションに出す時は『ふた』『キャップ』を外すこと、『中をすすぐこと』『分別すること』をお願いします。

最近、散歩をする方が増えて来たように思います。中にはゴミを拾いながら散歩をする方も見かける一方、川・道路脇には、家庭ごみ・レジ袋・空き缶等が捨てられている様子も見かけます。

私も最近知りましたが、飯田市は「ポイ捨て等防止及び環境美化を推進する市民条例」施行都市とのこと。ポイ捨てや飼犬等の糞の放置を禁止しています。

皆様も是非必ず守るよう心がけ、美しい環境にしていただくようお願いいたします。



こんなところにごみが……

捨てれば「ゴミ」
手間をかければ
貴重な「資源」

令和4年度 鼎地区リサイクルステーション

ガラス瓶・ペットボトルは、毎月第1、第4土曜日のリサイクルステーションで回収しています。

回収時間は、午前7時30分から午前9時まで、回収場所は別表のとおりです。

どこのステーションに持ち込んで頂いても結構です。

また、鼎地区では、アルミ缶の回収も行っています。

ちよつと手間をかければ、貴重な資源です。

ガラス瓶は、蓋を外し、中をすすぎ、色を分けて、ステーションへ。

ペットボトルは、キャップを外し、中をすすぎ、足でつぶしてステーションまで。

リサイクル（再資源化）へのご理解・ご協力をお願いします。

アルミ缶回収のお願い

鼎地区では、リサイクルステーション等でアルミ缶を回収しています。回収したアルミ缶の収益金の一部を鼎小・中学校へ寄付し、残りの金額を各地区の収集量に応じて分配し、委員会の活動に役立てております。

皆様のご協力をよろしくお願いたします。



R4 リサイクルステーション 会場一覧表【鼎地区】

	偶数月		奇数月	
	区	会場名	区	会場名
第1土曜日	切石	切石杉の子館(旧鼎西保育園)	東 鼎	飯田信用金庫鼎支店駐車場
	上茶屋	久米路橋際	下 山	下山区民会館
第2土曜日	上 山	上山区民センター	西 鼎	西鼎公園
第3土曜日	一 色	一色公民館	下茶屋	下茶屋区駐車場
第4土曜日	名古熊	名古熊公民館駐車場	中 平	鼎コミュニティ防災センター駐車場



健康福祉

皆様の健康と福祉のお手伝い

委員長(上山) 細井ひろみ

健康福祉委員会は、県地区の皆様が、健やかに安心して暮らすことができるようお手伝いをさせていただいております。

最近、どの地区でも高齢化が進み、一人暮らしや高齢者だけの世帯が増えてきています。買い物や通院等の日常生活が難しくなっているところに、出口の見えないコロナ禍が続く、大変苦しい状況になつていきます。

そこで、健康福祉委員会で、そのような皆様が少しでも、心豊かに生き生きと過ごすことができますように「見守り活動」を行っています。コロナ感染拡大により住民の皆様との近所付き合いも薄れ、個人情報保護等で見守り活動

も難しい現状ですが、皆様の心に寄り添いながら活動をしていきます。

また、今年度の主な活動として、昨年度に引き続き自宅に眠っている食品を集めて、生活に困っている方にお届けする「フードドライブ」を行う予定です。そのほかの事業においても共に支え合いながら進めてまいりたいと思っております。皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



かなえる会



ふれあいサロン

総務運営部会の取り組み

総務運営部会長

(中平) 川口 充央

令和4年度の総務運営部会の事業として、地域の皆様と一緒に、次にあげる事業に取り組んでいきたいと思っております。

- ふるさと県ふれあい広場・文化祭
 - 住民支え合いマップ(災害時助け合いマップ)の更新
 - がん検診受診率向上の取組
 - 県地区でのフードドライブと集めた食糧品の提供
- これらの事業を通して、県

地域健康福祉部会の取り組み

地域健康福祉部会長

(名古屋) 吉澤 勝正

地域健康福祉部会では、今年度次のような事業を計画し、運営していきます。

- 民生児童委員との連絡会
 - 募金箱の設置など小さな善意運動の推進
 - 各支部健康づくり教室
 - 地域全体の健康づくりに対する意識の向上を図る
 - いきいき教室・県公開講座
 - いきいき教室・県公開講座
 - ふれあいサロンの定期開催
- 高齢者の健康増進、健康維

地区の福祉課題や健康について興味・関心を持っていただけるよう考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。



フードドライブ



県公開講座

持、介護予防及び交流
県地区の皆様が健康に、いきいきと暮らせるための知識をお届けできるように考えていきます。皆様のご参加をお待ちしています。

ボランティア部会の取り組み

ボランティア部会長

(下山) 宮島 肇

今年度のボランティア部会の事業として、次のことを計画しています。

- 県地区高齢者と県中生徒を結ぶ「絵手紙交流」
- 在宅で介護されている方への支援の一助として「愛の贈り物事業」
- 要支援世帯の把握と見守り活動
- 外出する機会の少ない高齢者の交流やふれあいの場を作る「外出支援事業」
- 高齢者と子ども達との交流の場を創出する「世代間交流事業」

地域の皆様のご協力をいただき、実施いたしますのでよろしくお願い致します。



県中生徒が作成した絵手紙



生活安全委員長あいさつ

2年間

宜しく願います

委員長 渋谷 健

新年度になっても新型コロナウイルスの影響から解放される見通しがなかなか立たない中、新しいメンバーでの活動が始まりました。お互いにマスクをした顔しか知らない状況ですが、皆で協力して頑張っていきたいと思えます。

早速4月6日から始まった「春の全国交通安全運動」に合わせた啓発活動として、初日の6日に切石体育館付近の交差点での人波ルート作戦を行いました。この活動は年4回ある交通安全運動に合わせ、切石と東鼎の交差点で年に2回ずつ実施していきます。また、4月26日に鼎小学校、

5月2日にみつば保育園で画・実施された交通安全教室に参加協力をしました。

5月13日に高齢者講習制度が改正になりました。これを機に、高齢者だけでなく地域の皆様全員がもう一度、交通安全への意識と注意を確認していただければと思います。

交通安全関係以外にも、生活安全関係の活動もあります。防犯設備の点検・整備や、空き家の確認も含めた防犯パトロールなどもしています。生活安全委員や各地区の担当者の見回りだけでは気づかない点があるといます。地域の皆様のご協力をいただきながら、誰もが安心して暮らせるように、活動を一つずつ行っていきたいと思えます。

委員会の活動範囲が「交通安全」から「生活安全」ということで、地区の皆様のご生活全体に関わっています。この先も新型コロナウイルスの影響で、まだまだ活動が制限されるのが予想されますが、地域の安全な生活のために活動していきたいと思えます。どうぞ、皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

交通安全指導員講習会



3月24日(木)19時から参加人数を制限して開催され、「消防警戒区域の設定」、「交通誘導の具体的方法」、「街頭交通指導要領」等を学びました。

交通安全については元鼎地区生活安全委員長で現在の切石区長、前澤清隆氏より具体的指導を受け、「短時間の講習会では、内容を理解することが難しいので資料をよく読み理解を深めておくことが大切」であること、「交通安全指導員は、車を止める権限が無いことから、お願いして止まっていたらどうかという考え方が必要」と助言されました。交通誘導の通信手段について、直近行事の春季祭典を想定し、トランシーバーの具体

的使用方法を実機活用し解説していただきました。今回の参加者が未経験者多数であったことを受け、プロの交通安全指導員講習会のことについても話があり、交通誘導の難しさを感じる機会となりました。



春の交通安全運動

4月6日から4月15日まで

人波ルート作戦

春の全国交通安全運動初日の6日午前7時より、切石体育館前交差点にて、人波ルート作戦を実施しました。上茶屋・切石・上山・一色・名古熊の交通安全指導員及び女性部員60名が参加し、交通安全を呼びかけました。小学校の入学式で、登校の様子も同時に見守ることができました。

鼎小学校交通安全教室

4月26日(火)に鼎小学校で交通安全教室が行われました。

交通安全指導員11名が参加し、1年生から3年生までの児童が歩行訓練を行う様子を各ポイントに立って指導しました。道を渡る時に、お友達と声を掛け合いながら手を挙げて左右確認する様子が印象的でした。これからも事故のないよう、楽しい学校生活を送ってくださいね！



令和4年度まちづくり委員会関係役員名簿

執行部
(区長委員長会・地域振興部会)

会長	前田 雄二
副会長(総括)	本島 文男
一色区長	奥村 充由
副会長(会計)	奥村 充由
名古熊区長	熊谷 廣光
総務文教部長	熊谷 廣光
下茶屋区長	熊谷 廣光
総務文教副部長	熊谷 廣光
東鼎副区長	小木曾 学
総務文教部	小木曾 学
名古熊副区長	奥村 仁司
上茶屋副区長	吉澤 恒人
上山副区長	牧島 龍雄
特別委員	古川 仁
特別委員	岡田 慶
産業経済部長	岡田 慶
上茶屋区長	中島 基雄
産業経済副部長	中島 基雄
東鼎区長	大鹿 和完
産業経済部	大鹿 和完
中平副区長	戸崎 敬
一色副区長	須山 一博
特別委員	齋藤 憲
特別委員	木下 眞實
特別委員	倉田 広美
特別委員	佐々木博子
建設部長	佐々木博子

切石区長	前澤 清隆
建設副部長	前澤 清隆
下山区長	伊澤 増男
建設部	伊澤 増男
西鼎副区長	熊谷 和俊
下茶屋副区長	松沢 政明
特別委員	小平 彰
自主防災部長	小平 彰
中平区長	吉川 豊
自主防災副部長	吉川 豊
西鼎区長	関口 明
自主防災部	関口 明
下山副区長	原 義博
切石副区長	村澤 英彦
特別委員	山崎 昌伸
広報部長	山崎 昌伸
上山区長	山田 勝利
広報副部長(兼)	山田 勝利
中平副区長	戸崎 敬
広報部 各区副区長	戸崎 敬
生活安全委員長	渋谷 健
子どもを育む委員長	渋谷 健
健康福祉委員長	細井ひろみ
環境衛生委員長	今牧 宏益
公民館・教育文化委員長	今牧 宏益
顧問 前会長	小西 盛登
顧問 東鼎区	安田 完爾
監事 上山区	木下 勝可
監事 宮澤	隆光

生活安全委員会

委員長	渋谷 健
下茶屋副委員長	渋谷 健
上茶屋副委員長・会計	下平 泰人
下山副委員長	福沢 英一
支部長	福沢 英一
東鼎支部長	牧野 圭三
西鼎支部長	柳平 兆
中平支部長	黒河内守仁
切石支部長	中島 進
上山支部長	小森 俊彦
一色支部長	北原 孝正
名古熊支部長	小林 郁夫
女性部副部長	加藤 京子
女性部副部長	曾我 信子
子どもを育む委員会	曾我 信子
委員長	小澤 澄子
切石副委員長・会計	小澤 澄子
中平副委員長	黒河内隆史
副委員長	黒河内隆史
上山副委員長	大藏 和幸
支部長	大藏 和幸
下山支部長	吉川 篤
東鼎支部長	池田謙一郎
西鼎支部長	太田 栄一
下茶屋支部長	小林 和利
上茶屋支部長	倉田幸智子
一色支部長	小原 康晴
名古熊支部長	小澤 健

健康福祉委員会

委員長	細井ひろみ
上山副委員長・会計	細井ひろみ
西鼎副委員長	川上 康行
東鼎副委員長	安藤 浩治
支部長	安藤 浩治
下山支部長	宮島 肇
下茶屋支部長	橋場 昭文
中平支部長	川口 充央
上茶屋支部長	佐々木三夫
切石支部長	岡庭 保人
一色支部長	西脇 茂
名古熊支部長	吉澤 勝正
環境衛生委員会	吉澤 勝正
委員長	今牧 宏益
下山副委員長・会計	今牧 宏益
西鼎副委員長	前澤 秀夫
東鼎副委員長	白木 郁夫
不法投棄パトロール員	白木 郁夫
西鼎支部長	斉藤 武人
下茶屋支部長	鈴木 政宏
中平支部長	折金 恒男
上茶屋支部長	森下 直樹
切石支部長	代田 稔
上山支部長	羽場崎幸尋
名古熊支部長	小林 隆司
女性部長	関島 勇二
女性部長	日置 美奈

女性部副部長 吉川 夕子
公民館・教育文化委員会
委員長(公民館長)

女性部副部長	吉川 夕子
公民館・教育文化委員会	吉川 夕子
委員長(公民館長)	吉川 夕子
上山副委員長(分館長)	小西 盛登
切石副委員長(分館長)	澤柳 厚司
副委員長(分館長)	澤柳 厚司
上山副委員長(分館長)	倉地 美彦
支部長(分館長)	倉地 美彦
下山支部長	山田 力
東鼎支部長	中島 勇人
西鼎支部長	村澤 裕之
下茶屋支部長	鈴木 亮弘
中平支部長	吉田 綾子
上茶屋支部長	宮下 正広
一色支部長	西村 伸吾
名古熊支部長	木下 治雄
広報かなえ編集委員	木下 治雄
委員長	山田勝利 (上山)
副委員長	戸崎 敬 (中平)
生活安全委員会	戸崎 敬 (中平)
柳平 兆 (西鼎)	柳平 兆 (西鼎)
北原孝正 (一色)	北原孝正 (一色)
子どもを育む委員会	北原孝正 (一色)
大藏和幸 (上山)	大藏和幸 (上山)
池田謙一郎 (東鼎)	池田謙一郎 (東鼎)
健康福祉委員会	池田謙一郎 (東鼎)
安藤浩治 (東鼎)	安藤浩治 (東鼎)
川上康行 (西鼎)	川上康行 (西鼎)
環境衛生委員会	川上康行 (西鼎)
前澤秀夫 (西鼎)	前澤秀夫 (西鼎)
白木郁夫 (東鼎)	白木郁夫 (東鼎)
公民館・教育文化委員会	白木郁夫 (東鼎)

鼎地域協議会委員 (定数21)

- 会長 澤柳 忠夫
副会長 戸崎 敬
委員 安田 完爾、前田 雄二、木下 勝可、金本 悦子、成田 幸子、秦 久夫、本田とし子、小林登志子、大前 敦、加藤 京子、小澤 澄子、細井ひろみ、日置 美奈、小西 盛登、清川 浩子、岡田 慶、木下 善文、関島 利雄、鈴木 好雄

- 消防団 櫻井勝司 (一色)、田中 学 (西鼎)、羽場 功 (上山)、小木曾泰斗(東鼎)、松下弘毅(鼎自振C)、吉川隆志(鼎公民館)

団体役員名簿

- 民生児童委員 会長 下茶屋 多田 雅幸、副会長 上山 田畑 久雄、副会長 上茶屋 小林登志子
西山 杉山 伸幸、関口 晴子、林 敬子、関口 收司、東 鼎 御菌生詔二、西 鼎 渡辺 吉博、中 平 鈴木 貴子、池内婦記子、切石 憲治、村澤 憲治、夏目まさ子、宮下勢津子、萱垣寿満子、山本美智子、北原 謙一、上浦みどり、羽場 澄江、名古熊 三ツ石美千穂、主任児童委員 関島 学、坂巻 敏夫、小澤 嘉恵
赤十字奉仕団鼎分団 分団長 関口 敦子、副分団長 齋藤 玲子、監事 熊谷智恵子、西塚 洋子、本田とし子

分団役員 (◎班長)

- 下山 ◎関口 幸子、◎小林 玲子
東 鼎 ◎滝 由利江、◎熊谷美智子
西 鼎 ◎安田 剛、◎加藤 康治
下茶屋 ◎福澤 豊子、◎日置ますえ
中 平 ◎木下 雅夫、◎桐生 好子
上茶屋 ◎倉田麻衣子、◎森下 香織
平澤 愛
◎村澤 和子、◎長谷部順子、◎多田 政代、◎榎 賢蔵
◎沢柳 君代、◎北原いくえ、◎関島 朝弥、◎久保田文代
無線クラブ 会長 松本 泰雄、副会長 中島 弘貴、理事 関嶋 政治、伊藤 由広、福澤 宣紘
消防団第15分団 分団長 岡本 誠、副分団長 羽場 功、庶務部長 上野 秀

- 消防部長 小木曾泰斗
庶務班長 吉川 隆志
諸団体 鼎小学校 福山 尚樹、P T A会長 福山 尚樹、P T A会長 大前 敦、鼎中学校 榎澤 直樹、鼎中学校 榎澤 直樹、P T A会長 大前 敦、学校長 齊藤 辰幸、学校長 松澤 祥人、鼎壮年団長 池之側祐一、副団長 代田 貴嗣、副団長 岡田 慶、鼎婦人会長 松澤 洋子、副会長 平栗とみ子、会 計 松澤 洋子

鼎自治振興センター・鼎公民館の職員体制

- 所長 松下 弘毅
主 査 小木曾 誠
主 査 伊藤 真悟
主 事 小平 朋奈
主 事 原 涼歌
主 事 久保田 薫
保健師 福与 遥
保健師 小西 盛登
館長 吉川 隆志
公民館主事 木下 直子
学習支援係 篠田 眞利
管理係 篠田 眞利

【地区の人口と世帯数】 ※ 住民基本台帳法の改正に伴い、「人口および世帯数」には外国人住民の方を含みます。

Table with 4 columns: 鼎の人口・世帯数 (Male/Female/Total/Households), 基準日及び増減 (Date/Change), 飯田市の人口・世帯数 (Male/Female/Total/Households). Rows show data for April 2022, April 2023, and April 2024.